

目標達成計画

作成日: 令和 7年 1月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議の委員から出た意見や要望については、地域の理解と支援を得るための貴重なものである。会議に出された意見や質問に対し議論し、他の委員の方や職員にも知らせる取り組みが求められる。	運営推進会議にて得た意見や要望を、全職員に分かりやすく伝わるように努めることができるようにする。	運営推進会議の意見や要望等を、各ユニット会議の際に職員に伝達することで、情報の共有化を図ります。また、集合体での会議の際はユニットのリーダーおよび職員も参加し、積極的な意見の交換が出来る場を目指します。	ヶ月
2	35	○災害対策 緊急避難時の管理体制として非常災害時に利用者が避難誘導先で困らないよう、緊急時持ち出し書類の整備を行う。	年2回の火災避難訓練(夜間想定・日中想定)と、総合避難訓練(佐世保市東消防署監修)を計画、実施することで、適切な訓練の行動や、反省を話し合うことができる。	緊急避難時の管理体制として非常災害時に利用者が避難誘導先で困らないよう、緊急時持ち出し書類の整備と目標の訓練時に活用する。	ヶ月
3	23	○その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントについて 個別ケアプランにおいて、本人様の思いや暮らし方、意向に沿って努めているが、新規入居の情報を職員間で共有し支援に活かすための手段や方法について議論して検討していく必要がある。	新規利用相談とご契約後の情報は、担当者会議を行うことで、適切な個別ケアの課題解決見に向けたケアマネジメントに全職員で取り組むことが出来る。	個別の情報を、速やかに職員間で周知し、担当者会議を行うことで、適切な個別ケアの課題解決に向けたケアマネジメントに全職員で取り組むことが出来る。	ヶ月
4	49	○日常的な外出支援 外出支援は日々増えてきているが、季節に合わせた外出だけではなく同法人の近隣事業所へ参加することが出来る工夫が必要と思われる。	同法人の通所介護事業所および、地域密着型小規模ユニット特養施設などの行事企画に参加することが出来る。	外出の機会を増やし、同法人のデイサービス等の行事・企画などに参加し、本人様の希望・ご家族一地域の利用者の交流活性化を図る。	ヶ月
5					ヶ月